

日本タウン誌・フリーペーパー大賞

「にしてつニュース」や 「みちくさ」が最優秀賞

日本鉄道の広報誌などが最優秀賞に選ばれた。

「にしてつニュース」は、企業の広報や販売促進目的の媒体に送られる「企業誌部門」で最優秀賞を獲得した。沿線のグルメガイドや月ごとのテーマに沿った沿線の紹介などが「鉄道を利用した小旅行をしたくなる仕掛けがふんだんにある」と高評価だった。

州の観光情報をふんだんに掲載し、地図の効果的な活用や、地域の特産品を送る有料サービス展開が、受賞理由だった。

また、熊本県の人吉球磨地域の月刊情報誌「どうぎゃん」（ぷらんどうデザイン工房）は、読者投票部門の1位に輝いた。

地域のタウン誌やフリー

ペーパーの出来栄を競う

「日本タウン誌・フリーペ

ーパー大賞2015」（日

本地域情報振興協会主催）

で、九州・山口地域から西

アイロード（宮崎市）が

発行する旅の情報誌「みち

くさ」は、新たな収益モデ

ルの確立などが評価され

「ビジネスモデル部門」の

最優秀賞を受賞した。南九

日本タウン誌・フリーペ

ーパー大賞は、紙面の企画

やデザインのほか、収益性

や読者からの評価を基に審

査する。今年は約220誌

が応募し、大賞には「北海

道応援マガジンJPO1」（総合商研）が選ばれた。